令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 摂津市社会福祉協議会

目 次

1.	事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	実施事業詳細	
(1)法人運営	
	理事会・評議員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2	地域福祉活動の充実	
	小地域ネットワーク活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	ボランティアセンター事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	生活支援コーディネーター事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	献血推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
E)相談支援体制の強化・充実	
	日常生活自立支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ç
	生活福祉資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・ 1	C
	コミュニティソーシャルワーカー事業・・・・・・・・ 1	1
	ファミリー・サポート・センター事業・・・・・・・・ 1	4
	ライフサポーター事業・・・・・・・・・・・・・・ 1	5
4)相談・利用しやすい地域包括支援センターの構築	
	地域包括支援センター事業・・・・・・・・・・・・・ 1	6
(5)介護サービス事業の安定的な運営	
	訪問介護事業・居宅介護事業・・・・・・・・・・・・・ 2	7
Œ	法人の財政基盤強化等	
	社協会員会費・組織構成会員会費・・・・・・・・・・・ 2	8
	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動・・・・・・・・ 2	8
	広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	Ç
(7)その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	Ç

1. 事業報告

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の流行、ウクライナ情勢等の国際秩序の不安定化、消費物価の高騰、歴史的な円安等、社会を取り巻く環境が大きく変化し、私たちの日常生活にも大きな影響がありました。

また、ひきこもり、8050問題、ヤングケアラー問題など、「制度の狭間」と言われる複合的で顕在化しにくい課題を抱える世帯や自ら相談窓口に出向くことができずに必要な支援を受けられない人が増加するなどの生活課題が増加しています。

このような状況の中、摂津市社会福祉協議会では、感染症に伴う社会環境の変化に柔軟に対応しながら、地域住民をはじめ、行政、市内の様々な団体などとともに地域福祉活動の歩みをすすめてまいりました。

小地域ネットワーク活動では、校区等福祉委員会のサロン活動が感染対策を取りながら再開され、地域に日常が取り戻されつつあります。

ボランティア活動では、コロナ禍における工夫として、ボランティア啓発動画を積極的に 発信してまいりました。

生活支援コーディネーターの活動では、高齢者の困りごとや希望を把握し、新しいサービスの創出とその担い手の養成等を行う、有償ボランティア活動(よりそいクラブ)の実施範囲を拡大し、市民の皆さまのちょっとした困りごとに対応する仕組みづくりに取り組みました。

令和2年より約2年半に渡り行われたコロナ特例貸付は、令和4年9月に終了しました。 令和5年1月より特例貸付の償還が開始されましたが、今なお生活の再建が困難な方々が多 く存在している状況から、新たにコロナ特例貸付の利用者を対象に、償還猶予や免除申請に 関する支援を行ってまいりました。また今後のフォローアップ支援として償還が困難な世帯 へのアウトリーチ型の支援等を行うための体制整備を進めてまいりました。

コミュニティソーシャルワーカー事業では、困難ケースの個別支援を行うほか、ひきこも り家族交流会の実施やヤングケアラーについての講演会などを実施しました。

ライフサポーター事業では、一人暮らし登録を行う高齢者等の見守り支援のほか、生活や健康に関する情報の提供、他機関との連携により必要なサービスへつなぐ支援などを行いました。

日常生活自立支援事業では、判断能力に不安のある高齢者・障害者等の日常の生活支援を 行いました。また判断能力の低下など利用者の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて成 年後見制度への移行を検討するなど、他機関との連携を図りました。

ファミリー・サポート・センター事業では、同事業をより利用しやすい制度とするため、出 張説明会やオンラインでの説明会を実施するなど会員拡大に向け様々な工夫を凝らしながら 事業を展開してまいりました。

訪問介護・居宅介護事業所では、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、利用者個々の状況に合わせた細やかな支援の提供を行いました。

地域包括支援センターでは、高齢者の総合相談窓口として、高齢者やそのご家族、支援者等からの様々な相談に応じました。

その他、「地域福祉活動計画」の基本理念である『みんなで支え合い育む、誰もが安心して暮らせる、笑顔あふれるつながりのまちづくり』を目指し、この1年それぞれの事業に取り組んでまいりました。

実施事業詳細

①法人運営

理事会・評議員会

理事会

年 月 日	場所	主な議題			
令和4年 4月1日	書面審議	・ 常務理事選定の件			
令和4年 6月10日	地域福祉活動 支援センター 研修室 1	 ・ 令和3年度事業報告の件 ・ 令和3年度決算の件 ・ 理事候補者の件 ・ 評議員候補者の件 ・ 令和4年度第1回評議員会開催の件 ・ 第8回評議員選任・解任委員会開催の件 ・ 経理規程の一部を改正する規程制定の件 			
令和5年 3月1日	地域福祉活動 支援センター 研修室 1	 ・ 令和5年度事業計画の件 ・ 令和5年度収支予算の件 ・ 職員給与規則の一部を改正する規則制定の件 ・ 福祉基金運用の件 ・ 役員等賠償責任保険契約の件 ・ 令和4年度第2回評議員会開催の件 			

評議員会

年 月 日	場所	主な議題
令和4年	地域福祉活動	・ 令和3年度事業報告の件
6月27日	支援センター	・ 令和3年度決算の件
0月27日	研修室1	・ 理事選任の件
	地域福祉活動	・ 令和5年度事業計画の件
令和5年	を 支援センター	・ 令和5年度収支予算の件
3月23日		・ 役員等報酬規程の一部を改正する規程制
	研修室 1	定の件

②地域福祉活動の充実

小地域ネットワーク活動事業

校区等福祉委員会を中心に福祉活動拠点や集会所等で、ふれあいサロン・リハサロン等を開催し、専門職による助言を受けながら、地域での健康づくりと介護予防を推進しました。

コロナ禍により各種活動の中止が余儀なくされている中、令和3年度に作成した 「校区等福祉委員会ふれあいサロン・リハサロン再開・運営に向けたマニュアル」を 活用し、感染予防に十分留意しながら小地域ネットワーク活動を更に再開しました。

項目	令和4年度見込	令和4年度実績
サロン実施回数	5 0 0	2 1 6
サロン参加者総数	18,000	5, 244

ボランティアセンター事業

災害発生時に速やかに災害ボランティア活動に取り組むことができるよう、平時から市内のボランティア関係機関や団体、企業、NPO、行政等と連携し、防災と減災に関する情報交換を行う「災害ボランティアネットワーク会議」を開催しました。

コロナ禍により各種ボランティア活動の中止が余儀なくされましたが、感染予防 に十分留意しながらボランティア派遣と活動の啓発を行いました。

項目	令和4年度目標	令和4年度実績	
ボランティア登録者数	6 1 5	5 7 4	
ボランティア派遣回数	7 8 5	8 8 1	

ボランティア体験プログラム (小・中学生のためのボランティア体験講座)

実施日	内容	参加人数
8月19日	手話体験講座	5
8月24日	車いす・高齢者疑似体験講座	8

ぞうきん縫ってボランティア

実施回数	参加人数
1 0	5 3

切手整理ボランティア

実施回数	参加人数
1 0	7 2

学生対象切手整理ボランティア

実施回数	参加人数
1	1 1

ボランティア連絡協議会のPR動画作成とユーチューブでの公開 (ボランティア連絡協議会主催)

撮影公開時期	内 容	参加人数
	アニメ主題歌「やつらの足音のバラード」に合わせ市民ボ	
撮影	ランティアや、ボランティア連絡協議会メンバーが歌唱や	
4月24日	ポーズをとり参加。	
	動画撮影・作成業者:ユナイテッド・トゥモロー	
公開6月	出演協力者	3 3
	動画音楽演奏	2

ボランティア連絡協議会 登録グループ

撮影公開時期	内 容	参加人数
	ボランティア連絡協議会登録グループの活動の様子を撮	
	影	
108	もくもく会	1 5
10月~	ピンチヒッター	8
令和5年1月	ほほえみの会	6
	忘れな草	8
	やまびこ会	1 1

リモートボランティア

実施日	内容	参加人数
9月28日	地域福祉活動支援センターと市内施設をオンラインでつ なぎ、リモートでボランティア活動を実施	1 0

災害ネットワーク会議

実施日	内 容	参加人数
11月28日	関係団体における災害支援活動についての情報交換 災害ボランティアセンターマッチングシュミレーション ゲーム	7団体 15

ボランティアセミナー2023 (ボランティア連絡協議会主催) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアフェスティバルは中止し、セミナーを開催

実施日	内 容	来場者数
1月29日	・ボランティア連絡協議会 活動PR動画視聴・講演岡本かおり氏テーマ「ボランティアっていいね!~プラスのエネルギー〜」	6 0

生活支援コーディネーター事業

有償ボランティア活動の実施範囲拡大を行い、様々な地域課題を解決する新たな取り組みを地域住民とともに検討し実施しました。

項目	令和4年度目標	令和4年度実績
活動件数	4 0 0	9 2 7

実績内訳

活動項目	分類・団体名	活動件数
	リハサロン	1 2
	サロン	1 8
	地域活動マップの取材	1 4 0
訪問・取材	委託型つどい場	1 4
	カフェ型つどい場	5
	住民主体型つどい場	2
	認知症カフェ	0
	自治会との連携	0
	民生児童委員との連携	6
	地域住民との連携	3
	CSWとの連携	7
連携	ボランティアセンターとの連携	4
	総務係・地域係との連携	1 9
	地域包括支援センターとの連携	1 4
	ライフサポーターとの連携	1 9
	他機関との連携	5 4

	生活支援	107
生活支援サービス	支え合い仕組み作り	0
	よりそいクラブに関する業務	4 3 2
暮らしの応援協議会		0
SNS への投稿		4 6
講座・研修		1 0
その他		1 5
合 計		927

生活支援サービス「せんだん鳥の市」: 令和4年10月30日 開催

参加者:400名

生活支援サービス⇒有償ボランティア「よりそいクラブ」令和4年4月より本格的 に活動開始

≪活動実績≫

活動期間:令和4年4月7日~令和5年3月30日

活動件数:62

活動内容:ベランダ掃除、窓拭き掃除、照明器具の掃除、家具の移動、エアコン

の掃除。換気扇の掃除及びフィルター交換など

担い手登録者:40

活動報告会 : 令和4年9月22日 地域福祉活動支援センター

ボランティア登録会:令和5年1月30日 味生公民館

ボランティア交流会:令和5年3月12日 地域福祉活動支援センター

献血推進事業

市内において街頭献血を実施するとともに、啓発キャンペーンを行い、献血の推進を図りました。特に、学校献血の実施など、若年層(主に $20\sim30$ 代)への呼びかけを積極的に行いました。(SNS での街頭献血の周知や成人祭でのパンフレットの配布等)

項目	令和4年度目標	令和4年度実績	
街頭献血実施回数	1 0	7	
献血者数	400	2 4 8	
骨髄バンクドナー登録者数	1 0	0	

実施日	実施場所	200m1 献血	400m1 献血	合 計
4月22日	大阪人間科学大学	8	2 4	3 2
6月9日	摂津市役所	0	4 7	4 7
9月8日	摂津市役所	0	4 7	4 7
10月25日	大阪人間科学大学	4	1 9	2 3
12月8日	摂津市役所	1	4 9	5 0
2月3日	摂津市役所 (午前中のみ)	0	4	4
3月9日	摂津市役所	0	4 8	4 8
合 計		1 3	2 3 5	2 4 8

献血キャンペーン

愛の血	1液助け合	い運動
1	実施日	令和4年7月1日~7月31日
1	場所	社会福祉協議会
2	実施日	令和4年7月9日
∠	場所	摂津市福祉就職フェア
大阪府	牙献血推進	月間
1	実施日	令和4年12月8日
1	場所摂準市役所	
2	実施日	令和4年12月1日~令和4年1月31日
	場所	社会福祉協議会

③相談支援体制の強化・充実

日常生活自立支援事業

認知症や知的障害、精神障害などにより、判断能力にハンディキャップがある方々の福祉サービスの手続き援助や、日常の金銭管理を行うことで住み慣れた地域で安心して住み続けることができるよう、支援をさらに進めました。

広報紙やホームページ、SNS などを活用し、幅広く事業の周知と啓発を図り、利用者の拡大に努めました。

項目	令和4年度目標	令和4年度実績
利用者人数	3 5	2 4
訪問回数	1,000	873

相談件数及び契約者数

内 容	知的障害者や認知症高齢者、精神障害者等の方々の日常生活
内 容	上の金銭管理や相談援助を行う事業
相談件数	認知症高齢者 18
	知的障害者 1
	精神障害者 8
その他相談件数	現契約者からの相談件数 37
	認知症高齢者 7
契約者数	知的障害者 9
	精神障害者 8

生活福祉資金貸付事業

貸付での対応が困難な相談者については、生活状況等の聴き取りを行う中で、社協内部や関係機関との連携により、情報提供を行い、必要な支援につなげました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少や失業等により生活に困窮し、 日常生活の維持が困難となっている世帯に対して生活資金を貸し付けるコロナ特例 貸付は当初、令和3年度をもって終了の予定が、令和4年9月末まで制度が延長さ れました。制度終了後は、償還や貸付後の生活相談などの対応にあたりました。

項目	令和4年度見込み	令和4年度実績
貸付申請 (コロナ)	制度終了予定	3 1 3
貸付相談 (小口)	3 0	3 6
貸付申請 (小口)	2 0	1 1
貸付相談 (総合)	1 0	1 6
貸付申請 (総合)	5	0
貸付相談(教育)	2 0	3 2
貸付申請(教育)	1 3	18
貸付相談 (その他)	3 0	1 6
貸付申請 (その他)	5	1

コミュニティソーシャルワーカー事業

ごみ屋敷問題や8050問題、ひきこもり支援などの新たな福祉課題のほか、地域の心配や困りごと、悩みごと、課題の解決のため、地域の専門職や関係機関、地域住民とネットワークを構築し、支え合いの地域づくりを進めながら課題解決に努めました。

地域で手助けが必要な要支援者を理解し、温かく見守る応援者として、自身でできる範囲で活動を行っていただく方々を「あったかご近所サポーター」として養成し、地域住民同士の支え合い・助け合いを推進しました。校区等福祉委員会やボランティア活動への参加の促進、受講者同士のネットワークづくりによる地域のつながりの再構築などを進めました。

また、年齢や所得状況が原因で、住居の確保(契約等)が困難なケースについては、 昨年度発足しました居住支援協議会等とも十分に連携を図りながら、当事者の支援 にあたりました。

個別相談

項目	令和4年度見込み	令和4年度実績
相談件数	3 0 0	6 5 0
相談者数	280	202

対象者別(重複あり)

	T	1
相談対象者	延べ件数	相談件数
高齢者	1, 957	3 7 0
(うち) ひとり暮らし高齢者	1, 521	273
(うち) 高齢者のみの世帯	4 3 6	9 7
障害者	5 7 6	8 7
(うち)身体障害者	8 7	1 3
(うち)知的障害者	2 5 4	2 0
(うち)精神障害者	2 3 5	5 4
子育て中の親子	2 3	9
一人親家庭の親子	3 0	6
青少年	1 3 0	3 8
DV 被害者	9	4
ホームレス	1 2 9	2
外国人(中国帰国者を含む)	1 3	2
その他 (40代)	8 7	2 2
その他 (50代)	3 5 1	8 7

その他 (60~64 才)	2 1 7	2 2
その他(不明)	1	1
その他 ()	0	0
合計	3, 523	6 5 0

内容別 (重複あり)

相談内容	延べ件数	相談件数
福祉制度・サービスに関する相談	1, 668	2 9 8
生活に関する身近な相談	1, 746	4 5 1
健康・医療に関する相談	1, 325	2 6 9
生活費に関する相談	4 0 0	6 5
就労に関する相談	8 9	3 0
財産管理・権利擁護に関する相談	1 6 7	2 7
消費者被害に関する相談	2 4	6
多重債務に関する相談	0	0
DV・虐待に関する相談	2 5	1 0
地域福祉・ボランティア活動に関する 相談	8 3	2 6
住宅に関する相談	4 5 5	4 5
子育て・子どもの教育に関する相談	1 6	9
ひきこもりに関する相談	1 1 8	3 2
合計	6, 116	1, 268

地域活動

活動内容	延べ件数
住民活動のコーディネート	6 0
要援護者等の組織化支援	1 4
公的サービス等との協働	1 1 6
ケース検討会	3 1
地域住民対象の研修会の開催	3
各種サービスの利用申請支援	2 5
地域活動への参加	2
その他	6 0
合計	3 1 1

福祉何でも出張相談

実施場所	デイハウスました
実施回数	1 0
来所者	3
相談件数	3件

[※]あいあいホール別府、ゆうゆうホール鳥飼西、さわやか広場とりかいでの相談は 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

あったかご近所サポーター養成講座

実施日	内容	講師	参加 人数
9月2日	「発達障害について」 「日常生活自立支援事業につ いて」	「さかいハッタツ友の会」 代表 石橋尋志氏 社会福祉協議会 職員	9
11月29日	動画視聴 「生活支援ボランティアのススメ」 「新・助け合い体験ゲーム (実践編)」	社会福祉協議会 職員	7
1月14日	ファミサポ オンライン説明会 「ヤングケアラー」 ~講演と当事者の体験談~	社会福祉協議会 職員 特定非営利活動法人 ふうせんの 会 事務局長 南多恵子氏	9
3月24日	あったかご近所サポーター 【実践編】&交流会	社会福祉協議会 職員	1 1

ひきこもり家族交流会

		T		
実施日	内容	講師	実施場所	参加人数
5月7日	ひきこもりを支える家族の ピアサポート 一交流会を始めるにあたって―	大阪人間科学大学 講師 岩田 光宏 先生	摂津市立地域福祉 活動支援センター 4階 研修室	15
9月17日	ひきこもり家族交流会 2022 年度 第 2 回	大阪人間科学大学 講師 岩田 光宏 先生	摂津市立地域福祉 活動支援センター 4階 研修室	6
2月4日	ひきこもり家族交流会 2022 年度 第3回	大阪人間科学大学 講師 岩田 光宏 先生	摂津市立地域福祉 活動支援センター 4階 研修室	6

ファミリー・サポート・センター事業

地域で子ども・子育てを支えるため、「子育てのお手伝いをして欲しい方(依頼会員)」と「子育てのお手伝いをしたい方(援助会員)」がお互いに助け合う、会員制の育児支援活動である「ファミリー・サポート・センター」の周知に努め、他機関との連携をさらに強化するなど、充実を図りました。

来所が難しい方へオンラインでの対応や、大型集合住宅での出張説明会の開催、 募集チラシ等の作成を工夫し、会員の拡充に努めました。

項目	令和4年度目標	令和4年度実績
会員登録者数	3 9 0	4 0 5
活動回数	5 1 0	4 3 6

ライフサポーター事業

民生委員を通じてひとり暮らしの登録、高齢者のみ世帯の登録等をされた方や7 5歳到達の方に対して、必要な見守りの程度に応じて、ライフサポーターが戸別訪問し、生活や健康保持に関する情報の提供などを行いました。

また、見守り以外の支援が必要な場合には、生活支援コーディネーターやコミュニティソーシャルワーカー、地域包括支援センター等と連携を図り、必要なサービスへつなぐなどの支援を行いました。

項目	令和4年度見込み	令和4年度実績
ひとり暮らし登録	7, 222	6, 499
高齢者のみ世帯	2 6	5 6
登録		
75歳到達の方	1, 514	1, 520

④相談・利用しやすい地域包括支援センターの構築

地域包括支援センター事業

地域包括ケアシステムの構築に向け地域で暮らす高齢者が必要な社会資源を活用し、いつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるよう支援を行います。

社協ニュースや YouTube 等を活用し、市民に介護、福祉、健康等の啓発や周知活動を行いました。

社会福祉協議会内の連携を密に図り、地域の実態把握に努めました。また、関係機関等との多職種連携研修会への参画、認知症プロジェクトチーム会議等の開催により地域課題の検討や専門職との連携を行いました。

介護予防・日常生活支援総合事業において、現行のサービスに限らず多様な社会 資源を活用し、住み慣れた地域での生活が継続できるように支援を行いました。

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務として介護支援専門員に対し、研修会や事例検討会の開催を行いました。

地域ケア会議では引き続き個別ケース会議の開催を行い、中学校区での全体会議で地域課題の共有等を行いました。

昨年11月に開所した地域包括支援センター鳥飼分室においては、地域の方の身近な総合相談窓口として利用いただけるよう、引き続き周知を図ってまいりました。

項目	令和4年度目標	令和4年度実績
総合相談 (新規)	1,000件	1,115件
健康づくり	5回以上	10回
(健康づくりグル		
ープ支援)		
健康づくり	1回以上	2 回
(はつらつ元気で		
まっせ講座)		
健康づくり	5回以上	10回
(つどい場等への		
情報発信)		
市民向け研修会	1 回	1 回
事業所向け研修会	ケアマネジャー向	ケアマネジャー向
	け研修会 2回	け研修会 3回

ケアプラン作成	12,540件	11,945件
	(内、包括作成	(内、包括作成
	3,700件)	4,038件)
認知症初期集中支	チーム員会議	チーム員会議
援チーム	6 旦	3 回
認知症プロジェク	会議 6回	会議 5回
トチーム	ひとり歩き声かけ	ひとり歩き声かけ
	訓練 3回	訓練 3回

介護予防マネジメント

せっついきいき健康づくりグループ

実施日	内 容	会場	参加人数
4月19日	健康づくりグループ	地域福祉活動支援センター	1 0
4月19日	プロジェクトチーム会議	ボランティア作業室	1 0
5月18日	いきいき体操の会 総会	コミュニティプラザ	2 0
5月24日	健康づくりグループ	地域福祉活動支援センター	1 0
J / 24 H	プロジェクトチーム会議	ボランティア作業室	1 0
8月8日	健康づくりグループ	地域福祉活動支援センター	1 1
0701	プロジェクトチーム会議	ボランティア作業室	1 1
12月6日	 健康づくりグループ総会	地域福祉活動支援センター	2 2
12 / 1 О Д	足派ライケノル・ノ心云	研修室1	2 2
1月12日	健康づくりグループ	地域福祉活動支援センター	9
1 万 12 日	プロジェクトチーム会議	研修室3	3
1月30日	 勉強会	コミュニティプラザ	26グループ
1 Д 50 д	旭坻云		6 8
1月31日	 勉強会	コミュニティプラザ	21グループ
1万51日	旭瑶云		6 3
2月21日	 健康づくりグループ会議	地域福祉活動支援センター	11グループ
2 /1 21 H		研修室1	2 2
3月8日	 健康づくりグループ会議	地域福祉活動支援センター	18グループ
3701	陸冰 フトソフル / 云哦	研修室1	2 2

介護予防教室(はつらつ元気でまっせ講座)

実施日	内容	会場	参加人数
7月20日	健康に関する自主	エイジングコート	1 2
10月7日	グループの育成支援	安威川公民館	9

転倒予防等の啓発 (つどい場等への情報発信)

実施日		会場	参加人数	
5月23日	老人クラブ総会	安威川公民館	50クラブ	
7月11日	柳田校区リハサロン	いきいきプラザ	2 2	
7月13日	柳田校区リハサロン	いきいきプラザ	2 5	
1月17日	楽々カフェ	地域福祉活動支援センター	2 0	
2月22日	これないの田 へばい担	老人福祉センター	3 4	
2月22日	ふれあいの里のどい場	(ふれあいの里内)	3 4	
3月15日	3 中校区地区民協	地域福祉活動支援センター	3 4	
3月15日	5 中校区地区民協	さわやか広場とりかい	1 5	
2 日 15 日	やまびこ会	シルバー人材センター	4	
3月15日	(健康づくりグループ)	ワークプラザ	4	
3月16日	4 中校区地区民協	あいあいホール別府	1 7	
	NPO 法人摂津市人材サポ			
3月16日	ートビューロー (ふれあ	 こらぼハウス「そら」	8	
	いカフェ)	こりはハリヘ てり] 	δ	
	(健康づくりグループ)			

介護予防会議

・保健センター (セラピスト)、高齢介護課と月に1回介護予防についての会議を 行い、通所型サービス C、つどい場の利用につながりそうな要支援認定者へアプローチを行いました

会議の開催:12

電話でのアプローチ件数:41(うち、訪問対応件数:16)

2022 年度大阪府「10 歳若返り」プロジェクト 「初めての健康ダンス教室」開催への参画

会場:味舌体育館

開催回数:8 (9月26日~11月21日)

運営:公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会

総合相談支援

相談経路

相談経路	件数	うち、分室受付分
本人	173	9
家族・親族	5 0 7	2 8
近隣住民・知人	1 9	3
介護支援専門員	1 4 2	4
介護サービス従事者	1 6	0
認定調査員	2	0
民生委員等地域福祉関係者	1 0	2
ライフサポーター	1 7	1
病院関係者	1 2 2	9
市町村関係部署	5 6	2
CSW	2 5	0
その他	2 6	3
合 計	1, 115	6 1

相談内容(重複あり)

相談経路	件数	うち、分室受付分
介護保険サービス	8 5 4	4 3
虐待	3 3	0
権利擁護関係	1 9	0
生活上の相談	1 0 1	6
介護相談・介護者支援	2 9	2

施設の紹介・説明	1 7	2
福祉サービス	2 8	5
保健サービス	2	0
医療サービス	2 7	4
介護者の離職防止に関する事	0	0
その他	3 3	3
合 計	1, 143	6 5

包括的・継続的ケアマネジメント

実施日	内 容	会場	参加人数
5月28日	三島圏域地域リハビリテーション連絡会 講演会 「コロナ禍における退院支援」	オンライン開催	4 8
11月26日	三島圏域地域リハビリテーション連絡会 オンライン意見交換会 「コロナ禍における認知症対応」	オンライン開催	3 0
1月28日	三島圏域地域リハビリテーション連絡会 症例検討会 「コロナ禍における認知症のリハビリテーション」	オンライン開催	4 0
2月13日	三島圏域地域リハビリテーション ケアマネジャー研修会 「認知症患者へのリハビリ」	オンライン開催	4 3
3月18日	三島圏域地域リハビリテーション看護職研修会 「地域包括支援センター・ケアマネジャーの役割を事例を通して学ぼう」	オンライン開催	3 5

多職種連携研修会は新型コロナウィルスの影響により研修会の開催中止

予防給付ケアマネジメント

住宅改修(重複あり)合計51件

内訳	件数
手すり取り付け	4 9
段差解消	5
便器取り替え	1
扉取り替え	1
床材の変更	1

サービス計画書作成

包括支援センター作成分	新規	9 3
	継続	3, 945
41 +p / /	新規	2 4 8
外部委託分	継続	7, 659
合 計		11, 945

権利擁護

虐待相談状況

虐待相談件数22件

虐	待当事者内訳	件数	通報者	件数
性別	男性	6	本人	3
	女性	1 6	親族	3
年齢	64歳以下	1	ケアマネジャー	1 2
	65歳~74歳	3	市役所	1
	75歳~84歳	1 5	病院関係者	1
	85歳以上	3	近隣住民	1
介護認定	未申請	7	他市包括	1
	申請中	1	合 計	2 2
	要支援1・2	1		
	要介護1・2	4		
	要介護3・4・5	9		
認知症	あり	1 5		
	なし	7		

虐待認定件数8件

内容内訳	件数
身体	6
心理	1
経済	0
性的	0
放棄	1
自虐	0
合 計	8

市民対象研修

実施日	内容	講師	参加 人数
6月7日	「笑う門には福来る!」 笑いヨガ講座	笑いョガティーチャー ほめカード講師 黒田 みすず 氏	3 5

事業所職員対象研修

実施日	内 容	講師	参加
天旭口	PI 谷	니다 대 회	人数
	上仕 の見づと	大阪人間科学大学	
12月20日	虐待への気づき	人間科学部非常勤講師	18
	「養護者支援の立場から」	公益社団法人 日本社会福祉士	
		会所属 中家 洋子 氏	

ケアマネジャー対象研修

実施日	内容	講師	参加 人数
5月26日	生活支援コーディネーター 研修会	第1層 生活支援コーディネーター 摂津市高齢介護課 亀崎 祐樹 氏 第2層 生活支援コーディネーター 摂津市社会福祉協議会 小島 芳子 氏 馬越 詩子 氏	3 4
10月11日	高齢障がい者支援研修	摂津市障害者総合支援センター 施設長 石井 寛人 氏	4 8
2月15日	主任ケアマネ対象 「スーパービジョン 基 礎編」	大阪介護支援専門員協会 理事 大谷 信哉 氏	1 6

地域ケア会議

校区別会議

校区	実施日	内容	会場	参加 人数
一中	3月2日	・居住支援法人について・「個別ケース会議」の報告 他・生活支援コーディネーターの活動について(よりそいクラブについて)・ひとり歩き声かけ模擬訓練について	摂津市役所 本館3階 301会議 室	1 7
二中	2月14日	・居住支援法人について・「個別ケース会議」の報告 他・生活支援コーディネーターの活動について(よりそいクラブについて)・ひとり歩き声かけ模擬訓練について	摂津市役所 本館3階 301会議 室	1 2
三中	2月20日	・居住支援法人について・「個別ケース会議」の報告 他・生活支援コーディネーターの活動について(よりそいクラブについて)・ひとり歩き声かけ模擬訓練について	摂津市役所 新館4階 401会議 室	1 6
四中	2月28日	・居住支援法人について・「個別ケース会議」の報告 他・生活支援コーディネーターの活動について(よりそいクラブについて)・ひとり歩き声かけ模擬訓練について	摂津市役所 本館3階 301会議 室	1 7
五中	2月16日	・居住支援法人について・「個別ケース会議」の報告 他・生活支援コーディネーターの活動について(よりそいクラブについて)・ひとり歩き声かけ模擬訓練について	摂津市役所 本館3階 301会議 室	1 3

個別ケース会議

校区	実施日	内容	会場	参加 人数
一中	8月15日	体調不良から食事摂取や立ち座りも困難となった姉と認知症がある妹の2人暮らし。 姉に受診を勧めるも拒否し、数カ月前から電気が止まっている等があり、姉妹のこれまでの生活状況の把握と今後の支援について支援者間で情報共有をおこなったケース。 (民生委員、高齢介護課、包括)	地域福祉活動支援センター2階	5
二中	6月16日	ひとり暮らし高齢女性。 認知面が気になる方としてライフサポーターからの情報提供があった。 財布や家の鍵を紛失し、金銭管理ができず、徘徊が始まったため成年後見制度やひとり歩き見守りシールなどの利用を検討した。見守り体制だけでなく、地域内の認知症の理解を深めていくことを話し合ったケース。 (民生委員、ケアマネジャー、ライフサポーター、高齢介護課、包括)	地域福祉活動支援センター4階	7
四中	8月9日	夫が亡くなった後ひとり暮らしとなった妻が、暫くして不穏な状況となり近隣住民から心配の声が上がる。遠方に住む娘も母親の状態に不安を抱え CSW に相談。 家族、近隣住民、支援者間で今後の見守り支援のあり方、必要な支援に向けて話し合ったケース。 (家族、近隣住民、民生委員、CSW、ライフサポーター、高齢介護課、包括)	南別府団地集会所	8

認知症総合支援

認知症初期集中支援業務

普及啓発

媒体の作成	オレンジチームちらし (4月改訂)
配架、配布	市役所および包括窓口、市内指定居宅支援事業者
巡回説明	民生児童委員総会、介護保険事業者連絡会、つどい
	場、認知症サポーター養成講座
会議、研修会など	認知症支援プロジェクトチーム会議

チーム員会議回数、相談対応

相談作	牛数	8
チーム員会議回数		3
初回訪問件数		4
初期集中支援訪問回数		1 1
	(うち、受診同行回数)	2
	(うち、自宅訪問回数)	1 0
引継件数		3
引継後モニタリング件数		3

認知症地域支援・ケア向上業務

主な取組内容	
認知症の人やその家族	・摂津市委託型つどい場での PR 活動
の支援に関する社会資	・せっつ社協ニュース、市広報誌への記事掲載
源の情報の収集および	・「認知症の人やその家族を支える地域資源」改訂
発信	・「認知症ケアパス」改訂
認知症支援プロジェク	・定例会議開催(全5回)
トチームの会議の開催	・コアメンバー会議開催(全3回)
及び運営	
認知症キャラバン・メイ	・認知症サポーター養成講座に講師として協力(全 3
ト、サポーター育成への	回)
協力	
認知症カフェの取組の	・認知症支援プロジェクトチーム会議で認知症カフェ
支援	の取組状況等を情報共有
	・認知症カフェ運営等会議開催(全1回)
認知症ひとり歩き声か	・各地区の福祉委員会を通じて開催:3か所(味舌、鳥
け模擬訓練	飼西、柳田地区)
	摂津警察や地元介護保険事業者との連携

⑤介護サービス事業の安定的な運営

訪問介護事業・居宅介護事業

訪問介護員(ホームヘルパー)やガイドヘルパーを派遣し、適正なサービスを提供しました。必要に応じてサービスを希望される利用者に介護保険外サービスの提供を行いました。

毎月のミーティングで研修会を開催し、業務の質の向上に努めました。

産前産後ヘルパー派遣については、産前から産後1年未満の間でヘルパーを派遣 し、家事など必要な支援を行いました。

項目	令和4年度目標	令和4年度実績
利用者数(介護)	5 0	4 2
利用者数(障害)	5 0	5 5
登録ヘルパー人数	4 0	2 5
(提供責任者含む)		
産前産後ヘルパー	1 0	7
利用者数		
産前産後ヘルパー	6 0	7 8
訪問回数(延べ)		

⑥法人の財政基盤強化等

社協会員会費・組織構成会員会費

市民や事業所のみなさんからいただいた会員会費や寄付、募金を小地域ネットワーク活動をはじめ、地域に密着した福祉活動を充実させるために役立てました。

項目	令和4年度目標	令和4年度実績
協力自治会・町会数	100会	9 2 会
会員会費額	3, 200, 000円	2,747,276円
参加事業者数	6 5 団体	6 4 団体
組織構成会員会費	160,000円	150,000円

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動

10月1日より全国一斉に始まる赤い羽根共同募金運動について、市内で幅広く募金活動を行いました。また、共同募金の一環として行う歳末たすけあい運動につきましては、12月1日からの1ヶ月間を運動期間として、募金活動を行いました。集まった募金は、地域福祉のために役立ていただけるように、各種団体への助成等に活用しました。

項目	令和4年度目標	令和4年度実績
募金総額(赤い羽根)	3,300,000円	2,728,739円
募金総額 (歳末)	3,000,000円	2,284,068円
街頭募金実施場所数	8ヶ所	3ヶ所
募金箱設置場所数	14ヶ所	14ヶ所
法人募金協力数	18企業等	15企業等

広報活動

社協の実施する事業や地域福祉活動を紹介する広報紙「せっつ社協ニュース」を 年4回発行しました。

ホームページの更新を各事業の担当者が行うようになり、イベント情報など、よりタイムリーな情報を速やかに提供できるように努めました。

⑦その他の事業

福祉用具(車いす)貸し出し

一般市民の方への車いすの貸出の他、小・中学校で行う福祉体験授業において貸し出しを行いました。

	市民や団体から寄贈を受けた車椅子を、必要とされる方に無料で貸し出すリサイクルを兼ねている事業
貸出件数	1 3 3

実習生/インターンシップ学生の受け入れ

実習生	大阪人間科学大学より2名受入
インターンシップ	京都女子大学より1 (5日間)

摂津市老人介護者(家族)の会

研修会	4月、5月、7月、1月、2月
リフレッシュ事業	10月
懇談会	5月 3月
その他	楽々カフェ 11回開催 (10月 新型コロナにより中止) 役員会 12回開催 会員同士の介護についての話し合い
他行事への参加	関係団体からの依頼や呼びかけにより行事・研修会に参加
関係機関・団体 への参画 (会の代表者)	摂津市社会福祉協議会評議員会 せっつ高齢者かがやきプラン推進会議 女性政策推進市民懇話会 高齢者虐待防止ネットワーク 認知症支援プロジェクト会議

心配ごと相談

相談利用者数	男性 5	女性 12
相談件数	1 6	

電話相談事業(ほほえみコール)

内 容	電話によるひとり暮らしの高齢者への電話訪問を行う事業		
協力団体	ほほえみコールあしたいい日		
対応件数	・電話訪問(ほほえみコール) 147		

介護相談事業

内 容	福祉用具や介護相談に関する電話相談を行う事業		
協力団体	摂津市老人介護者 (家族) の会		
実施回数	48 (新型コロナの影響により数回中止あり)		
相談件数	3		

「ウィズコロナ、ポストコロナに対応した地域活動モデルの開発」

(大阪府福祉基金助成)

地域で福祉活動に主体的に取り組んでいただいている各地域の福祉委員及びボランティア登録をされている方で、主に高齢者の方々を対象に、スマホやタブレットの利用方法を学ぶ講座を実施しました。情報伝達のツールとしてスマホの使用方法を地域住民同士が教え合い、情報伝達技術を広めていただけるように、チューター養成講座を新たに実施しました。

項目	令和4年度目標	令和4年度実績
講座実施回数	1 2	1 2
参加者数	1 2 0	1 2 8